

# 全国初！ 消防団向け多機能型車両の交付式

防災課

財団法人日本消防協会では、財団法人日本宝くじ協会の協力により、日本初となる、消防団員のニーズに応えた「消防団向け多機能型車両」を今年度から平成20年度にかけて、各都道府県に1台ずつ計47消防団にモデル的に交付することとしました。平成19年12月19日(水)には、中央合同庁舎第2号館において、片山虎之助財団法人日本消防協会会長、遠藤安彦財団法人日本宝くじ協会会長、荒木慶司消防庁長官など出席のもと、第1号となる八王子市消防団（東京都）への車両交付式を開催しました。

「消防団向け多機能型車両」は、消火活動はもとより、地震・風水害などの大規模な災害において有効な手動式油圧カッターやチェーンソーなどの救助活動用資機材、自動体外式除細動器（以下「AED」という。）や救急セットなどの救急資機材も標準装備しています。

消防庁では、このような消防団向け多機能型車両の交付が、火災だけでなく救助活動への対応など消防団活動のより一層の充実強化、並びに全国の消防団員の士気の高揚につながるものと期待しています。

## <搭載資機材一覧>

代表的な 装備品						
	B-2級消防ポンプ	手動式油圧カッター	エンジンカッター	チェーンソー	AED	足付き四つ折担架
その他の装備：牽引用ロープ（破断張力6トン以上）、ストライカー（コンクリート破壊器具）、救急セット等						



荒木消防庁長官のあいさつ



八王子市消防団への鍵の贈呈



謝辞を述べる大久保治平八王子市消防団団長



救助資機材やAEDの取扱いの説明を受ける八王子市消防団員